

## 平成28年度徳島地域留学生交流推進協議会議事要旨

1. 日 時 平成29年1月23日(月) 15:00~16:00
2. 場 所 徳島大学地域創生・国際交流会館3階共用室302・303
3. 出席者 別紙のとおり

議事に先立ち、文部科学省高等教育局学生・留学生課 留学生交流室 留学交流支援係 佐々木係長から、挨拶及び所管事項の説明として、外国人留学生受入れの現状、政府全体の方針、外国人留学生受入れに関する支援策等、日本人留学生の派遣に関する現状と支援策等について、配付資料に基づき、説明があった。

(説明の概要)

### ① 外国人留学生受入れの現状

留学生数は、日本語教育機関に在籍する留学生が増加し、高等教育機関に在籍する留学生も増加している。国別では、ベトナム、ネパール、ミャンマーが特に増加率が高い。中東、アフリカ、中南米からは大学院生、大洋州、北米、欧州は学部学生が多い。アジアからは日本語学校、専修学校が多く、人数としては留学生全体の半分弱を占める。アジア、中東、アフリカ、中南米からの留学生は、学位取得を目的とする長期留学が多く、大洋州、北米、欧州は短期留学生が半数程度を占める。

### ② 政府全体の方針

日本政府は、留学生の受入れ、日本人学生の海外派遣の両方について2020年度までにそれぞれ倍増し、留学生の受入れは、2020年度までに30万人まで増やすことを基本方針とし、重点分野、重点地域を定め、戦略的な受入れを行うこととしている。平成26年の日本再興戦略改訂2014以降、留学生の一層の就職拡大、支援を図ることが定められている。

### ③ 外国人留学生受入れの支援策等

留学コーディネーター配置事業等の取組みに加えて、留学生就職促進プログラムを新規に行う予定である。留学生受入れ促進プログラムについては、特別枠、予約枠を増やして、留学生増加につながるよう見直しをしている。

留学生就職促進プログラムは、外国人留学生の日本国内での就職率を現状の3割から5割に向上させることを目指している。大学と地域がコンソーシアムを構築してキャリア教育、インターンシップ等を行い、就職を支援するものである。県単位での応募を前提としている。

### ④ 日本人留学生の派遣に関する現状と支援策等

徳島地域はトビタテ留学JAPAN!地域人材コースに採択されており、今後もご協力いただきたい。

## 4. 協議事項

### (1) 留学生に対する奨励事業の平成27年度監査報告について

金運営委員会委員長から、協議事項資料1-1に基づき、留学生に対する奨励事

業の平成27年度決算について説明があった後、平成28年10月12日（水）に鳴門教育大学監査員による会計監査が行われ、同年12月6日（火）に開催された本協議会運営委員会においても了承されている旨報告があり、審議の結果、承認された。

(2) 徳島地域留学生交流推進協議会、運営委員会要項及び奨励事業取扱要項の一部改正について

事務局徳島大学研究・社会連携部国際課松尾国際交流係長から、協議事項資料2-1、2-2及び2-3に基づき、徳島地域留学生交流推進協議会、運営委員会の要項及び奨励事業取扱要項の事務局名の現状に合わせた変更の説明があり、審議の結果、承認された。

(3) 平成29年度実施事業計画について

金運営委員会委員長から、協議事項資料3に基づき、平成29年度実施事業計画について説明があり、審議の結果、平成28年度に実施した①生活用品の無償提供 ②徳島文化体験交流会 ③外国人による日本語弁論大会 ④かずらばしの発行 ⑤ホストファミリー事業 ⑥多文化体験交流会 ⑦留学生に対する奨励事業 ⑧留学生の就職支援事業 を継続して行うことが承認された。

加えて、新規事業として留学生にボランティアとして地域に貢献してもらう活動、大規模災害避難訓練を行うこととした。

金運営委員会委員長から、報告資料1に基づき、平成28年度における活動状況について説明があった。

続いて、各高等教育機関から、留学生受入れの現状について報告があった。

① 徳島工業短期大学

留学生は15～16人程度で、アルバイトに時間を取られて十分な勉強時間が取れない、補講に出席しない学生への対応に苦慮している。

② 阿南工業高等専門学校

国費、政府派遣、交換留学生等、奨学金が受給できる学生が在籍している。国ごとに熱心さにばらつきがある。

③ 鳴門教育大学

教員研修生を受け入れているが、修士の学位が取得できない制度となっている。この点をどうにかしてほしい。

※ 本件については、文科省の担当部署から鳴門教育大学に直接回答をいただけることとなった。

④ 徳島大学

留学生宿舎が足りないため、増やす方法を検討している。長期的には新規に寮を建設

する方向で進めている。留学生の受入れには、宿舎と奨学金をいかに確保するかが重要であるとする。

#### 5. 佐々木係長による講評

徳島地域は、留学生交流拠点整備事業、キャラバン隊等、交流事業を熱心に行っている。今後も交流を深めていただきたい。